



オープンスペースでの舞台衣裳・美術展

初台アート・ロフト(Hatsudai Art Loft)

『針と糸で繋ぐ未来への扉』展 開催のお知らせ



2024年春『針と糸で繋ぐ未来への扉』展

With Needle and Thread, Connecting to the Door of the Future

2024年4月1日～2024年9月下旬（7月30日更新）

入場無料

開場時間：8:00～20:00

会場：新国立劇場1階～3階のオープンスペース

新国立劇場では2024年4月より、オープンスペースにおいて初台アート・ロフト『針と糸で繋ぐ未来への扉』展を開催しております。

時空を超えた人生の旅を構想する屋根裏部屋「初台アート・ロフト」。アート作品である舞台衣裳に光を当て、新たな物語を創造します。2019年にスタートした「初台アート・ロフト」は、「ファンタジー展」「パレード展」「生命の木展」「神話への旅展」「想像力と技ー素材と型ー展」「時空をこえて展」「奇想空間展」など様々な切り口から舞台衣裳の展示を実施してきました。今回は、『針と糸で繋ぐ未来への扉』と題し、舞台衣裳と空間デザインから広がる世界＝宇宙の表現を試みています。

宇宙の「宇」は大地四方、空間の広がり、を、「宙」は古往今来、時間の広がりを表します。舞台作品の魅力のひとつは、舞台と客席がそれぞれ自由に空間と時間の広がりを持つことであり、その中で衣裳は重要な役割を果たしています。今回の展示では、オペラ『ローエングリン』（1997年初演／2012年初演）、『魔笛』（1998年初演）、『ナクソス島のアリアドネ』（2002年初演）、『ホフマン物語』（2003年初演）、『エレクトラ』（2004年初演）、『イドメネオ』（2006年初演）、こどものためのオペラ劇場『ジークフリートの冒険』（2004年初演）から、未来感のある、とりわけ人の手がかかった素材や細工技術に特徴がある衣裳の数々をご覧ください。

今回の展示では、ストレッチ生地で縫製された花と蕨による装飾が各コーナーにエッジを効かせております。すべて手で制作された約2,000枚の花びらと約1,500枚の蕨の葉。それら装飾モチーフ、衣裳、小道具、植栽が有機的に融合調和し、一つの芸術的空間を創り出しています。会場であるオープンスペースは自然光が差し込み、その時々様々な表情が楽しめる建築空間です。「初台アート・ロフト」展示の魅力は、この建築空間と展示作品が創り出す世界＝宇宙と言えます。また、実際の衣裳やオブジェと併せて、今回も約200枚以上の展示作品の写真をパネルにてご紹介いたします。カメラのフィルターを通して表現された世界もお楽しみください。

新国立劇場では今後もアートをより身近に感じていただける場として「初台アート・ロフト」を皆様にお届けしてまいります。新国立劇場にお立ち寄りの際は、ぜひ空間全体でアートをご体感ください。

キュレーション：桜井久美（アトリエヒノデ）

インスタレーション：渡邊健斗／青木美穂

写真撮影：田中亜紀

マネキン製作：株式会社七彩

小道具：新国立劇場 技術総括課

制作：新国立劇場 情報センター

■ 展示衣裳〈新国立劇場主催公演〉

・オペラ『ローエングリン』（1997年初演）

エルザ

衣裳：ヨルゲ・ヤーラ

・オペラ『魔笛』（1998年初演）

ザラストロ／タミーノ／パミーナ／サル

美術・衣裳：ヘニング・フォン・ギールケ

・オペラ『ナクソス島のアリアドネ』（2002年初演）

エコー

美術・衣裳：オラフ・ツォンベック

・オペラ『ホフマン物語』（2003年初演）

ジュリエッタ／ダペルトウット

衣裳：アンドレア・ウーマン

・オペラ『エレクトラ』（2004年初演）

クリテムネストラ／クリソテミス

装置・衣裳：オラフ・ツォンベック

・オペラ『イドメネオ』（2006年初演）

イーリア／エレットラ

美術・衣裳：ルイジ・ペーレゴ

・オペラ『ローエングリン』（2012年初演）

エルザ／ローエングリン

ハインリヒ国王／オルトルート／王の伝令／テルラムント

美術・光メディア造形・衣裳：ロザリエ



オペラ『ローエングリン』（1997年初演）
エルザ



オペラ『ホフマン物語』
ジュリエッタ／ダペルトウット



オペラ『イドメネオ』より
イーリア

■ 展示衣裳〈こどものためのオペラ劇場〉

・『ジークフリートの冒険』（2004年初演）

ファフナー／ラインの娘たち／ワルキューレ／

ブリュンヒルデ／ジークフリート

衣裳：ひびのこづえ



上・右：

こどものためのオペラ劇場『ジークフリートとの冒険』



■ Hatsudai Art Loft 初台アート・ロフトについて

「初台アート・ロフト」とは、2019年7月にスタートした新国立劇場内の公開空地（オープンスペース）を活用した展示です。空間全体をアートとしてクリエーションすると同時に、貴重な舞台芸術を文化資産として修繕・保存することにも力を入れています。

新国立劇場は、1997年の開場以来、25年にわたって先駆的な公演も含め、常に世界水準の公演を上演してきました。これまでに蓄積した当劇場の財産を活用し、我が国の舞台芸術振興の拠点としてのプレゼンスを高めるプロジェクトを進めています。その一環として舞台美術・衣裳展を定期開催しており、「初台アート・ロフト」を通じて、新国立劇場がいつでも舞台芸術に触れていただけるにぎわいの場になることを目指しています。

■ 取材等お問合せ

※今後の展示の様態替えについては、当劇場ウェブサイト（<https://www.nntt.jac.go.jp/>）にて順次お知らせしてまいります。

公益財団法人新国立劇場運営財団 広報室

広報第一係 高橋・小松・遠藤

TEL：03-5352-5781（直通）

FAX：03-5352-5709

E-Mail：press@nntt.jac.go.jp